



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 日本ケミファ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4539 URL <http://www.chemiphar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 一城

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 安本 昌秀

TEL 03-3863-1211

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	16,097	3.2	619	5.4	513	35.8	326	33.5
2019年3月期第2四半期	16,637	5.0	655	33.1	800	18.6	491	32.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 257百万円 (44.6%) 2019年3月期第2四半期 464百万円 (53.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	90.83	
2019年3月期第2四半期	136.57	

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	47,322	17,759	37.5	4,933.72
2019年3月期	46,926	17,863	38.0	4,963.24

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 17,737百万円 2019年3月期 17,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		100.00	100.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,200	2.9	800	45.4	700	53.7	500	43.3	139.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	4,261,420 株	2019年3月期	4,261,420 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	666,280 株	2019年3月期	666,188 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	3,595,185 株	2019年3月期2Q	3,595,470 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、[添付資料]P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は当社ホームページに掲載いたします。また、2019年11月12日(火)に機関投資家、証券アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。説明会で配布した資料等につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記).....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動).....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用).....	9
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示).....	9
(セグメント情報等).....	9
(5) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資は減速傾向にありながら高水準を維持しており、個人消費も底堅く推移しているものの、米中貿易摩擦の激化などを背景にした世界経済の減速を受けて輸出が低迷し、成長に足踏み感がでてきました。また、海外についても、米中間の通商問題を巡る緊張の増大や英国のEU離脱問題、中東の地政学的リスクによる原油価格の上昇、中国経済の先行きといった諸問題が意識され、減速懸念が強くなっています。

国内の医薬品業界につきましては、6月に政府により「経済財政運営と改革の基本方針2019(骨太の方針2019)」が閣議決定され、前年度に引き続き当社の主要テーマである慢性腎臓病の予防に重点的に取り組むことが盛り込まれました。また、同方針の中で「薬価制度の抜本改革に向けた基本方針」に基づき、長期収載品の価格引き下げ開始期間や2021年度薬価改定の具体的な対象範囲といった課題などについて結論を得、着実に改革を推進するとしています。

当社グループにおいては、6月にジェネリック医薬品1成分2品目を発売しました。また9月には、2017年に西日本地区の物流で提携を開始した大塚倉庫株式会社と新たに東日本地区の物流でも提携することとなり、同社との共同物流は国内全域に拡大いたしました。

(医薬品事業)

ジェネリック医薬品については、今期は発売品目が少なかったことに加え、オーソライズドジェネリックの影響などがあり、前年同期比1.0%の減収となりました。主力品・新薬については、2月から販売を開始している腸管洗浄剤の新薬「ピコプレップ配合内用剤」の採用軒数は着実に増えているものの、ソレトン・ウラリットなどの主力品がジェネリック医薬品への置換による影響を受けていることにより、前年同期比15.0%の減収となっております。

以上の結果、ジェネリック医薬品と主力品・新薬を合わせた医療用医薬品の売上高は14,568百万円(前年同期比1.8%減)となりました。また、製造受託なども含めた医薬品事業全体の売上高は15,745百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益は645百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

(その他)

主に受託試験事業、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業である「その他」の事業の業績は、受託試験事業の売上が前年同期に好調であった反動から、売上高は351百万円(前年同期比12.4%減)となり、25百万円の営業損失(前年同期は9百万円の営業損失)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,097百万円(前年同期比3.2%減)、営業利益は619百万円(前年同期比5.4%減)、経常利益は513百万円(前年同期比35.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は326百万円(前年同期比33.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

1)資産

流動資産は前期末に比べて1,025百万円増加し、29,693百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加によるものです。

固定資産は前期末に比べて629百万円減少し、17,627百万円となりました。これは、主に減価償却の計上によるものです。

この結果、総資産は前期末に比べて395百万円増加し、47,322百万円となりました。

2)負債

流動負債は前期末に比べて173百万円減少し、13,651百万円となりました。これは、主に仕入債務の減少によるものです。

固定負債は前期末に比べて672百万円増加し、15,910百万円となりました。これは、主に長期借入金の増加によるものです。

この結果、負債合計は前期末に比べて499百万円増加し、29,562百万円となりました。

3)純資産

純資産合計は前期末に比べて103百万円減少し、17,759百万円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物は、営業活動により1,161百万円増加いたしました。また投資活動においては214百万円の減少、財務活動においては470百万円の増加となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は10,649百万円（前年同期比18.5%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金はたな卸資産の増加などがあったものの、主に税金等調整前四半期純利益の計上及び売上債権の減少により、1,161百万円の増加（前年同期は926百万円の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金は主に固定資産の取得により、214百万円の減少（前年同期は590百万円の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金は長期借入金の返済などがあった一方で、長期借入金の調達により、470百万円の増加（前年同期は737百万円の増加）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は、オーソライズドジェネリックの上市や市場競争激化の影響等より、2019年5月13日に公表した第2四半期連結累計期間の業績予想を下回る結果となりました。通期につきましても、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえて、2019年5月13日に公表した通期連結業績予想の売上高を下記のとおり修正いたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	34,200	800	700	500	139 07
今回発表予想 (B)	33,200	800	700	500	139 07
増 減 額 (B-A)	△ 1,000	—	—	—	
増 減 率 (%)	△ 2.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	34,182	1,464	1,512	881	245 11

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,333	10,752
受取手形及び売掛金	7,963	7,291
電子記録債権	4,795	4,381
商品及び製品	4,351	4,481
仕掛品	893	1,071
原材料及び貯蔵品	1,125	1,410
その他	205	304
流動資産合計	28,668	29,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,804	5,656
機械装置及び運搬具(純額)	2,247	2,011
工具、器具及び備品(純額)	391	383
土地	5,064	5,064
リース資産(純額)	264	227
建設仮勘定	17	42
有形固定資産合計	13,790	13,386
無形固定資産		
特許権	30	28
販売権	117	108
リース資産	36	31
ソフトウェア	173	159
電話加入権	18	18
無形固定資産合計	375	346
投資その他の資産		
投資有価証券	2,869	2,767
長期貸付金	2	1
長期前払費用	364	326
敷金及び保証金	100	88
繰延税金資産	408	366
その他	407	407
貸倒引当金	△63	△63
投資その他の資産合計	4,089	3,895
固定資産合計	18,256	17,627
繰延資産		
社債発行費	1	1
繰延資産合計	1	1
資産合計	46,926	47,322

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,926	1,835
電子記録債務	5,048	4,897
短期借入金	432	544
1年内返済予定の長期借入金	2,495	2,664
リース債務	104	98
未払金	43	88
未払法人税等	213	110
未払消費税等	195	60
未払費用	2,540	2,431
預り金	175	133
返品調整引当金	2	1
販売促進引当金	450	370
その他	197	415
流動負債合計	13,825	13,651
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	12,158	12,760
リース債務	236	192
役員退職慰労引当金	467	432
退職給付に係る負債	636	565
再評価に係る繰延税金負債	1,115	1,115
その他	422	642
固定負債合計	15,237	15,910
負債合計	29,063	29,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,304	4,304
資本剰余金	1,303	1,303
利益剰余金	12,113	12,076
自己株式	△3,187	△3,187
株主資本合計	14,535	14,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,079	1,004
土地再評価差額金	2,513	2,513
為替換算調整勘定	△70	△90
退職給付に係る調整累計額	△213	△187
その他の包括利益累計額合計	3,308	3,239
新株予約権	19	22
純資産合計	17,863	17,759
負債純資産合計	46,926	47,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	16,637	16,097
売上原価	9,499	9,220
売上総利益	7,137	6,876
返品調整引当金戻入額	1	0
差引売上総利益	7,138	6,877
販売費及び一般管理費	6,483	6,257
営業利益	655	619
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	29	29
固定資産賃貸料	3	3
持分法による投資利益	14	10
為替差益	133	-
保険配当金	1	2
受取設備負担金	25	-
その他	14	9
営業外収益合計	221	55
営業外費用		
支払利息	64	62
為替差損	-	85
支払手数料	3	3
その他	7	10
営業外費用合計	76	161
経常利益	800	513
税金等調整前四半期純利益	800	513
法人税、住民税及び事業税	241	123
法人税等調整額	68	63
法人税等合計	309	187
四半期純利益	491	326
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	491	326

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	491	326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103	△75
為替換算調整勘定	△172	△20
退職給付に係る調整額	42	26
その他の包括利益合計	△26	△68
四半期包括利益	464	257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	464	257
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	800	513
減価償却費	621	614
販売促進引当金の増減額(△は減少)	10	△80
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7	△34
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△28	△32
受取利息及び受取配当金	△29	△30
支払利息	64	62
為替差損益(△は益)	△133	85
売上債権の増減額(△は増加)	757	1,082
たな卸資産の増減額(△は増加)	△130	△598
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△159	△77
長期前払費用の増減額(△は増加)	△16	29
仕入債務の増減額(△は減少)	△751	△239
未払消費税等の増減額(△は減少)	△30	△134
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△148	45
その他の固定負債の増減額(△は減少)	406	220
その他	2	△16
小計	1,244	1,409
利息及び配当金の受取額	34	38
利息の支払額	△65	△64
法人税等の支払額	△287	△222
営業活動によるキャッシュ・フロー	926	1,161
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△48	△48
定期預金の払戻による収入	24	24
固定資産の取得による支出	△551	△195
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
差入保証金の回収による収入	2	12
その他	△14	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△590	△214
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	84	112
長期借入れによる収入	2,550	2,100
長期借入金の返済による支出	△1,467	△1,328
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△363	△363
その他	△63	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	737	470
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	△23
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,097	1,394
現金及び現金同等物の期首残高	7,890	9,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,987	10,649

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客に対する売上高	16,235	401	16,637	—	16,637
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	158	160	△160	—
計	16,237	560	16,798	△160	16,637
セグメント利益又は損失(△)	665	△9	665	—	655

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客に対する売上高	15,745	351	16,097	—	16,097
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	2	5	△5	—
計	15,748	354	16,102	△5	16,097
セグメント利益又は損失(△)	645	△25	619	—	619

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。